



こどもが安心して成長できる未来のために

新潟産業大学経済学部
阿部雅明（環境経済学）

1

こども家庭庁における「居場所づくり」



サンチャッカル
新潟産業大学キャラクター

出所：こども家庭庁
「令和7年版こども白書」

- ・ 居場所づくりを通じて、全てのこども・若者が、将来にわたって幸福な生活を送ることができるようにすることが目的です。

2

「居場所づくり」が重要な背景

- ① 地域コミュニティが変化し、空き地や路地裏、近所の駄菓子屋など、以前は特に意図せずとも、こどもの居場所となり得ていた場や関係性が減少していること。

3

「居場所づくり」が重要な背景（つづき）

- ② 児童虐待の相談対応件数の増加や不登校、自殺するこども・若者の数の増加など、こども・若者を取り巻く環境が一層厳しさを増すとともに課題が複雑かつ複合化していること。

また特にそうした厳しい状況下にいるこども・若者ほど居場所を持ちにくく、失いやすいと考えられること。

4

「居場所づくり」が重要な背景（つづき）

- ③ 価値観の多様化や文化の広がりに伴い、子ども・若者のニーズも多様化しているため、それらに応じた多様な居場所が求められるようになっていること。



出所：こども家庭庁
「令和7年版こども白書」

5

こども・若者の居場所に求められる要素

- ① こども・若者が安心して休息できること、安らげること
- ② こども・若者がありのままの自分でいられること、受容されること
- ③ こども・若者が自分の気持ちや意見を表現できること
- ④ こども・若者が自己肯定感を抱けること
- ⑤ こども・若者が自分の役割を感じられること、自己有用感を抱けること

6

こども・若者の居場所に求められる要素（つづき）

- ⑥ こども・若者が自分の存在を認識できる、生きているという感覚を抱けること
- ⑦ 人と人との関係性が開かれていくこと
- ⑧ 自分さがしの学びが生まれること
- ⑨ いつでもある、戻れる場所であること（年齢により途切れることがない）

7

こども・若者の居場所に求められる要素（つづき）

- ⑩ こども・若者が主体であること
- ⑪ いつでも自由に1人でいけること
- ⑫ 過ごし方を選べること
- ⑬ こども・若者の味方である大人がいること

8

こども・若者が居場所に求める要素

「居たい」



「行きたい」

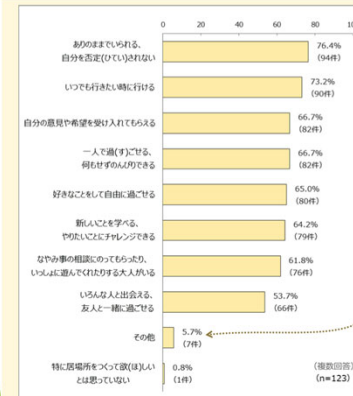


「やってみたい」



9

こども・若者の居場所づくりの取組によって、どんな居場所がつけられると嬉しいですか。



・「ありのままにいられる、自分を否定されない」が最も多く(76.4%)、次に「いつでも行き来したい時にいける」(73.2%)が続きました。

その他の内容 (一部抜粋)

特別感がない

普段のストレスを発散したりリラックスできる

複雑な家庭環境や人間関係、学校から解放されて安心できる場所

悩みについて相談した時にその解決に力を貸してくれる大人がいる場所

出所：こどもまんなか
こども家庭庁「いけんひろば」アンケート

10

おとなのみなさんへ、こどもからおねがいたいこと



出所：こどもまんなか
こども家庭庁
「いけんひろば」アンケート

11

こどもと一緒に、安心して暮らせる社会を作っていきましょう！



12